

ESD活動支援センター(地方・全国)活動状況等一覧(2021年5月現在)

資料1付表①

開設	体制基盤	情報基盤・発信	2021年度予定実施状況										
			委員会	事業	連携								
ESD活動支援センター名称	①開設 ②ウェブサイトオープン	委員会名称(委員人数)	①実質的センター業務責任者 ②担当窓口	電話回線開設(予定)	ウェブサイト用固定IP取得(予定)	リーフレット(パンフレット)印刷(予定) ①センター専用/EPO・センター合同の別 ②発行日 ③部数 ④増刷(予定)日・増刷部数	メールマガジン・メールニュース ①形態 ②頻度 ③発行部数	SNS活用 ①種別(facebook, Twitter, Instagram等) ②フォロー件数(種別ごと)	第1回日程 第2回日程 (あれば第3回日程)	地域フォーラム等	その他主要事業	連携予定の組織・団体、ネットワーク等(文部科学省令和3年度SDGs達成のための担い手育成(ESD)推進事業実施団体との連携含む)	その他特記事項等
北海道地方ESD活動支援センター	①②平成29年9月29日(金)	EPO北海道運営協議会(委員11名、オブザーバー4名。令和3年度より一体化)	①久保田学 ②小路楓	なし	なし	①EPO・センター合同 ②令和3年6月(予定) ③4,000部 ④予定なし	①EPO北海道メルマガに併設 ②毎週火曜日 ③1,588名	①facebook ②976	第1回 5/28(金) 第2回 2月(予定)	・今年度より新規で、地域ESD拠点を対象としたESD地域フォーラムを開催する(10月ごろ予定)。テーマはコロナ禍・今後のESDの実践をテーマとしたものを想定	・気候変動教育をテーマとした勉強会の実施 ・申請に応じて、ESDの活動を支援するアドバイザーの派遣を行う。 ・「北海道メジャーグループ・プロジェクト2021」を主幹団体として開催する。また、その分科会的な位置づけである「ユースグループ・ミーティング」を開催する。	・引き続き「RCE北海道道央圏協議会」に参画する。 ・地域ESD拠点連携(国立日高青少年自然の家等)として「北海道アウトドアフォーラム」の開催協力 ・メジャーグループプロジェクトを主催する、チーム「北海道メジャーグループ・プロジェクト2021」にてNPO法人さっぽろ自由学校「遊」をはじめ多様なステークホルダーとの協働	・地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業の令和3年度新規活動団体において、中心的な役割を担うNPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト(余市町)に対する伴走支援を行う。
東北地方ESD活動支援センター	①平成29年7月3日(月) ②平成29年9月1日(金)	東北地方ESD活動支援センター企画運営委員会(8名)	①井上郁康 統括 ②鈴木美紀子 チーフ 小泉照ノ コーディネーター	済	済	①センター専用→EPO・センター合同に改定 ②平成30年3月改定版:2019年10月中に印刷予定 ③4,000部 改定版:2,000部 ④増刷予定なし	①EPO東北メルマガに併設(2019年9月開始) ②月2回 ③1,195名	なし	第1回 7月(調整中) 第2回 1月(予定)	東北ESD/SDGsフォーラム青森 ・日時 2021/10/17(日)時間未定 ・会場 ハイブリッド開催(会場青森市) 日程は確定。青森県内の関係者で実行委員会を立ち上げる。企画内容、登壇者についてはこれから検討する。	ESD推進・地域研修会(学習会) ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアムと連携し、地域ESD拠点や東北内のESD実践者を対象とした、事例紹介や意見交換を行う研修会(学習会)を実施。	・ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム ・気仙沼市教育委員会 ・仙台ユネスコ協会 ・八戸工業大学第二高等学校 ・一般社団法人あきた地球環境会議 ・山形県教育センター ・鹿角地域振興局 ・会津ユネスコ協会 ・山形市教頭会	・気仙沼市教育委員会、気仙沼ESD/RCE推進委員会主催事業の共催 ・会津ユネスコ協会より今年度の事業についての相談をいただいている。対面による打ち合わせを実施予定。
関東地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月3日(月)	関東地方ESD活動支援センター企画運営委員会(11名)	①島田幸子 ②伊藤博隆	済	済	①センター専用(レポート) ②令和4年3月(予定) ③2000	①センター専用 ②月1回発行(2017年7月開始) ③1,896部	①facebook ②438人	第1回 6月(調整中) 第2回 3月(予定)	・関東ESD推進ネットワーク 第5回地域フォーラム ○日時:令和4年1月開催で調整中(リアルorオンライン)	・県域を対象としたESD推進セミナー 千葉県域を対象に調整中(時期未定) ・地域ESD拠点 研修会開催予定	【地域ESD拠点】 ・(一社)ESD TOKYO ・チャス自然体験学校 ・筑波大学付属坂戸高校 ・伊豆半島ジオパーク推進協議会 教育部会	・SDGs文化祭を本年度も実施(web開催) 7/18 キックオフ 7/27 大人にプレゼン 8/20 AM学生チーム編成:リアル PM 教員研修:リアル 9月中間発表 10月末 SDGs文化祭 ・分科会(別紙)
中部地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月3日(月)	ESD/EPO運営委員会(9名)	①統括:清本三郎、担当責任者:原理史 ②富田夏子、小松朋美	済	済	①EPO・センター合同 ②2020年3月 ③配布部数500部 ④2021年度中に第6期リーフレットを作成・発行予定	①EPOメルマガで兼用配信 ②月1回 ③743部	①facebook(当面、主催・関連イベント等のお知らせ投稿のみに限定) ②73人	第1回:6月16日(オンライン) 第2回:1-2月(オンライン)予定	●ESD推進ネットワーク地域フォーラム(案) 【日時】2022年1月~2月ごろ 【開催方法】オンライン 中部のSDGs未来都市の自治体職員、大学生等による取組発表やトークセッションを実施予定。	●分科会活動と連携して「(仮)中部版ESDワークブック~学生・社会人のための地域社会SDGs実践」のプロトタイプを作成予定。第6期中を通じて拡充、公開計画。 ●有識者、教育現場関係者のヒヤリング	●ユネスコジオパークに焦点を当て、国立公園など自然資産とESDをテーマにしたESDダイアログを想定、秋ごろ開催。	●愛知県発注「愛知県環境学習コーディネート業務」(EPO中部継続業務)として、学校や自治体等が出前講座を行う際の企業・NPO等による講師のコーディネートを実施。

1	2	3	4	5	6	7	4	5	6	7	8
情報提供・交換	施設・資材貸与	広報協力	マネジメント支援	事業協力	後援	共催	マネジメント支援	事業協力	後援	共催	資金補助・委託

11 戦略協働 戦略協働 共有目的を実現するために戦略的に協働(戦略会議など)を行う形態*
 12 政策協働 政策協働 共有目的を実現するために行政と政策的に協働(政策提案など)を行う形態*